



恋ヶ浜クナイテニスコートでの交流試合に参加した人たち (下松ジュニアソフトテニスクラブ提供)

日本一を重ねて創立30周年

下松

下松ジュニアソフトテニスクラブ

小学生を対象に活動 00人で祝った。 選手が頭角を現し、個々の屋外活動の敬遠が響く。同クラブは1995年、東ソー社員で全日一に輝く多くの選手が誕生した。この日はコートで世代を超えた交流試合を展開。夜は周南市昭和通り8月30日には恋ヶ浜クナイテニスコートで記念ゲームを開いての原田会長(78)を中心と中学校の部活動の地域移行、夏の暑さによりティーンを開いた。

水本監督は「子どもがクラブを卒業してもコーチとして協力してくれるようになって、チーム力が向上した。日本一という頂点を極めることができたことは、子どもにとってもチームにとってもありがたかった。これからも原点を大切に、ソフトテニスを楽しみ続ける選手を育てていきたい」と話している。

ニュースは
日刊新周南



恋ヶ浜クナイテニスコートでの交流試合に参加した人たち (下松ジュニアソフトテニスクラブ提供)

日本一を重ねて創立30周年

下松

下松ジュニアソフトテニスクラブ

小学生を対象に活動 00人で祝った。 選手が頭角を現し、個々の屋外活動の敬遠が響く。同クラブは1995年、東ソー社員で全日一に輝く多くの選手が誕生した。この日はコートで世代を超えた交流試合を展開。夜は周南市昭和通のいっぴくBBQビュで約110人が記念パーティを開いた。

水本監督は「子どもがクラブを卒業してもコーチとして協力してくれるようになって、チーム力が向上した。日本一という頂点を極めることができたことは、子どもにとってもチームにとってもありがたかった。これからも原点を大切に、ソフトテニスを楽しみ続ける選手を育てていきたい」と話している。

ニュースは
日刊新周南